

平成27年度 市長・教育長と語る会『報告書』

★日時 平成28年2月6日（土）15：00～17：00

★場所 福井県中小企業産業大学校 特別教室

【福井市への提言】

（1）「学校への支援員の方の増員について」

教職員の皆さまの役割が多岐にわたり多忙な中、先生方には日々子どもたちと向き合い大変なご尽力を頂いております。課題をかかえている子どもが多くなっている現状をふまえますと、各学校へのいきいきサポーターの方の増員をお願いしたいと思えます。また、学校では入り込めない家庭の問題についての支えをしてくださるスクールソーシャルワーカーの方を市で2名配置していただいておりますが、何とか増員をしていただきたいと思います。

【市からの回答】《教育長様より》

教職員のほとんどは県費負担教職員として県が採用している。市単独で採用しているのは、いきいきサポーター、介助員、学校図書館支援員、小学校カウンセラーなどである。特に、いきいきサポーターは72名を配置しており、支援が必要な子どもや学級などでそれぞれのケースに応じた働きをしてもらっている。また、学校では解決が困難なケースに対しては、スクールソーシャルワーカーが、福祉の面などとも連携を図りながら支援をしてきている。さらに、福井大学の2年生には、ライフパートナーとして困り感を抱えている子どもに温かい支援をもらっている。今後も一人一人に対応した教育をしていくために、行政としてできる範囲で対応をしていくつもりである。

（2）「子どもインフルエンザ予防接種の助成について」

福井県内において現在子どもインフルエンザ予防接種の助成があるのは、あわら市、坂井市、勝山市、永平寺町、池田町と聞いています。今後、福井市では、助成をしていただける予定はあるのでしょうか？予防接種を受けさせると一人6千円以上（2回接種した場合）かかります。子どもが3人いる家庭では、本当に大きな出費となりますが、インフルエンザの予防のためには是非受けさせたいものです。現在助成をしている市町の内容は異なりますが、福井市でも少しでも助成を頂けるととても助かります。子育ての一助として是非検討いただき、実施をお願いしたいと思います。

【市からの回答】《市長様より》

子育て世代への負担を軽減したいという考えに異論はないが、国の社会保障費も厳しくなっていており、予算に余裕がなく、任意予防接種の助成は難しい。インフルエンザ予防接種については、流行防止の効果が薄いという理由で、平成6年予防接種法の改正があり、平成7年からは任意予防接種となっている。症状緩和につながることは認められるので、自己負担の任意接種で受けていただきたい。市が、独自で予防接種の助成を行った場合、国からの交付税減額の可能性も考えられるので、この点からも助成は難しい。